

令和7年度 まちづくり協議会のペット防災に係るアンケート集計

No.	まち協	内 容	意 見	実施回数
1	仁川	—	特になし。現在防災計画策定中です。	0
2	高司	—	高司小、高司中、両校ともレイアウト図でのペットの管理場所設定はできているが、他の優先すべき訓練を行っており、学校との再協議の後、訓練をスタートする予定です。	0
3	良元	—	ペット同行避難訓練は取り組んでいない。地域でも犬や猫を飼っている家庭は多く、ペットに対する思い入れは家庭それぞれで違うので、一堂に集まることの課題や問題点について、今後取り組んでいく課題になると思う。	0
4	光明	—	—	0
5	未成	—	—	0
6	西山	—	西山小学校体育館建替えに際して、ピロティ部分をペットの避難場所にすることを検討する予定です。	0
7	未広	当コミュニティは市内まち協の中で一番最初にペット同行避難の取り組みを始めました。兵庫県動物愛護センターや阪神救助犬協会の協力をいただきながら、現在も継続して取り組んでいます。特に阪神救助犬協会はペット防災だけでなく、「わんわんパトロール」等防犯や人権啓発を含め多方面に渡り繋がっています。コロナ禍のため大勢がひとつ所に集まっていた訓練が難しい状況が続きましたが、少しずつ世の中の状況が良くなってきたので、またペット防災の取り組みを具体的に復活させようとコミュニティ総合防災部内で話し合いを始めましたところです。	ペット防災に取り組む人や組織団体が着実に増えとても心強く思っていますが、まだまだ「ペットは家族の一員だから」という感情論や「飼っている人だけの課題」といった他人事感が濃いと感じます。いち早く復興するために感情論ではなく理路整然とした根拠と飼っていない人も我が事として一緒に考える必要があり、こうした啓発を続けていくことがとても大切だと思います。	0
8	一小	—	地区防災計画に基づき避難所運営マニュアル及び避難所行動マニュアルを作成しています。その中で運動場の開放スペースの一部を「ペットスペース」として確保しています。しかし乍ら、実践的なペット同行避難訓練の実施には至っておりません。その理由としては ①住民人口が多く、避難所でのスペースが狭小であること ②学校内であり普段から動物の立ち入りが難しいこと ③実際の動物は連れてこずに「想定訓練(机上訓練)」は実施済。	0
9	ゆずり葉	コミュニティ避難訓練で本年初めて実施した(実際の参加者は1名)。	コミュニティの役員会で、ペット避難に関して「実際に災害発生時には避難しないでペットと生命を共にする」との発言に一種のカルチャーショックを受け、本年度初めて実施した。結果はご本人は欠席、参加者は1名でした。それが悪いわけではなく、地域(コミュニティ)全体に「ペット同行避難」自体が浸透していないのが問題と考え、令和8年度は重点的に「ペット同行避難」に取り組みたい。	1
10	すみれ	—	地域内の各自主防災会内で行っているところもある。まち協としては、体育館を避難所開設した際にどのようにするのかを今後話し合う	0

11	宝小	・ペット災害危機管理士講師、動物病院長による講座開催・ペット防災グッズ・パネル展示・同行避難マナー・病院長から避難所で受け入れてもらうために普段からしておくことの話し・出席者意見共有	・ペットを連れての防災訓練をしてみたい ・狂犬病・ワクチン・ノミダニの飼い主がすべきことの話し ・ペットが苦手な人の意見を知る。知って同行避難を考える。	1
12	売布	—	ペット防災について考えなければいけないとは思っているのですが、現在のところ、ペットの防災については、わんわんパトロールのメンバーと一緒に考えればいいのかという点だけが、共通の了解事項になっていません。令和8年度は、もう少し突っ込んで議論したいと思います。	0
13	小浜	—	ペット同行避難訓練は必要と考えていますが、地域住民の意識がバラバラで、犬、猫以外の動物はどうするのか？家には猫がいるので一緒に避難等考えられないので避難しない。等沢山の意見が出て今の所余裕がありません。今後の課題です	0
14	美座	昨年の防災訓練にペット避難所を開設しました	一般の人と別枠に考えないとアレルギー問題があるため、グランド内での管理が必要。テント内では多くのペットを管理は難しい思います。車内か、テントと一緒に過ごすことが必要と思われる。	1
15	安倉	—	学校内で対応できる設備がない。屋内でペットを避難させることができるか。人の避難との調整が必要。	0
16	長尾	—	基本は避難所には持ち込まないと思いますが、室内犬も所定の室内での管理になるのか。室外犬はまとめて一カ所では取扱いできないと思いますが。ねこの場合、リードが使えるか。避難所への持ち込みが希望の場合、できないため断るのか。ケース付きの場合の対応。	0
17	中山台	10月に、防災(避難)訓練と並行して、ペット同行避難訓練を実施した。 兵庫県動物愛護センターの指導の元、受付(マイクロチップの読み込み等)、クレートトレーニングや「ペットの防災対策」の講義を実施した。	各指定避難所におけるペットのケージ置き場の確保(学校毎に状況が異なる)。 ペット同行避難訓練に対する学校(避難所)毎の対応も異なる？車避難になる？ ペット防災の対象は今のところ犬であるが、猫やその他の動物はどうするか？ 実際の発災時の同行避難では、訓練ではわからない、夜間の対応の問題もある。	1
18	山本山手	—	山手台では多くの方がペットを飼っておられるので、災害時ペット同伴避難への配慮は必要です。しかし政府から各自治体にペット避難所を各避難所に設ける事を検討するように通達されていますが、先ずは行政が各避難所にペット避難所をどうするか検討し必要備品を配置し、各まち協に通知するのが筋だと思います。まち協が検討し学校設備、教室の一部をペット避難所に指定は出来ません。 本件はまち協が検討する問題ではありません。 またペットを飼っている人にペット同伴避難に備えて日頃からどういう躰けが必要か、避難所はどうなっているかはチラシを行政で作成頂き各まち協に提示頂ければまち協住民にお知らせすれば良いと考えます。	0
19	ひばり	—	—	0
20	西谷	—	—	0
訓練実施まち協合計				4